

令和4年度「市議会と大学生との意見交換会」実施報告

熊本市議会では、市民に議会や議員に対する理解・関心を深めてもらうことを目的に、公立大学法人熊本県立大学を対象としたアンケート調査並びに意見交換会を実施しました。

1. アンケート調査

対象者：熊本県立大学1～4年生

調査方法：アンケートフォームによる一斉調査

アンケート結果（別紙1）

2. 意見交換会

日時：令和4年（2022年）4月21日（木）14：00～15：00

場所：熊本市議会 予算決算委員会室

参加者：熊本県立大学 20名

市議会議員 10名（原口議長、三森委員長、山本副委員長、田中委員、
光永委員、吉村委員、齊藤委員、高瀬委員、島津委員、
荒川委員）

意見交換会の概要：

- ・開会
- ・議長挨拶
- ・議員紹介
- ・事前アンケートの回答発表
- ・4グループ（生徒5人、議員2人）に分かれてグループトーク
- ・議会広報委員長挨拶
- ・閉会
- ・写真撮影、アンケート記入

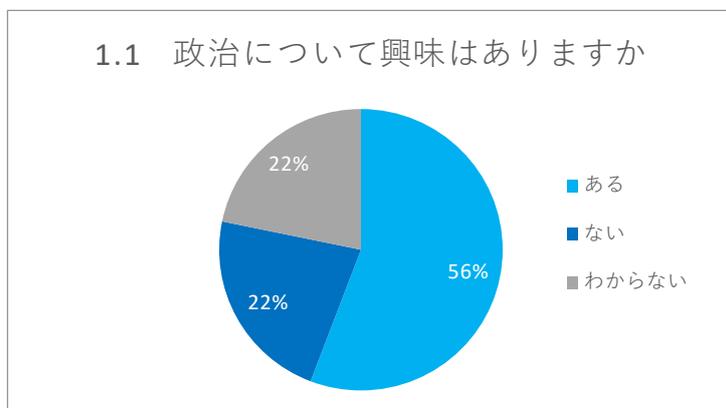
意見交換会の様子（別紙2）

意見交換会終了後の学生所見（別紙3）

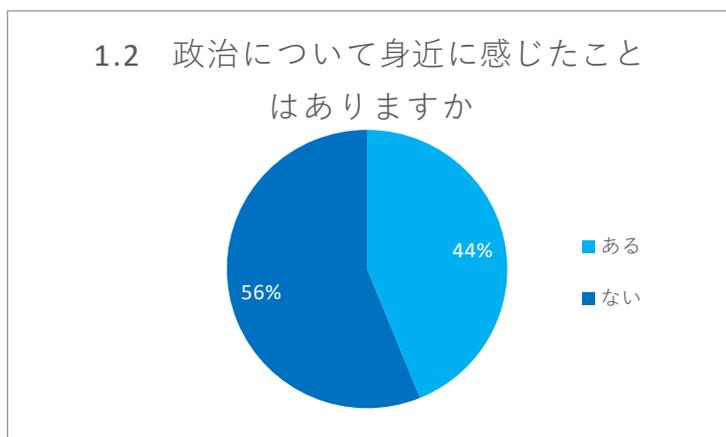
意見交換会終了後の市議会議員所見（別紙4）

熊本市議会に関するアンケート（県立大学生版）結果

回答数 148名



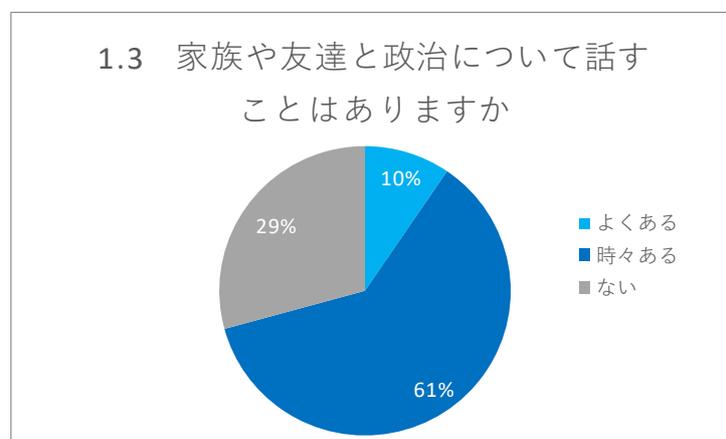
ある	82
ない	33
わからない	32



ある	64
ない	82

どのような時に身近に感じましたか（主な回答）

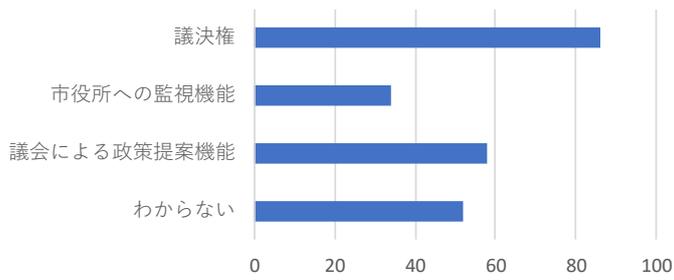
- ・選挙（15）
- ・インターンシップ（5）
- ・法整備によって日常生活に大きな影響が出るとき（2）
- ・学生向けの政治家たちの演説を聞いたとき
- ・高校で市議会との意見交換会があり、自身の意見が反映されたから
- ・地震やコロナ蔓延時に国民のことを考えていると感じたとき



よくある	14
時々ある	90
ない	43

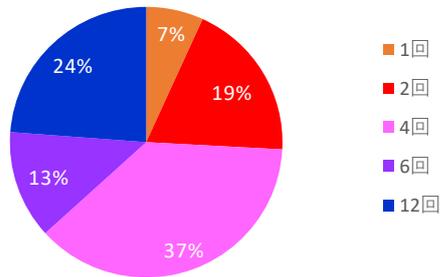
2.1 熊本市議会の役割としてあなたが知っているものを教えてください

(複数回答可)



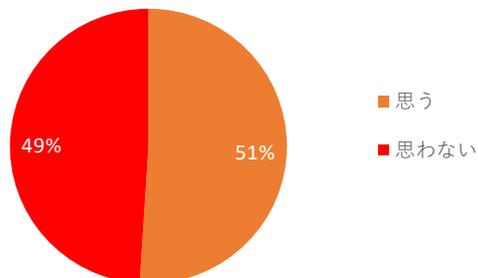
議決権	86
市役所への監視機能	34
議会による政策提案機能	58
わからない	52

2.2 熊本市議会（定例会）は一年に何回開かれていますか



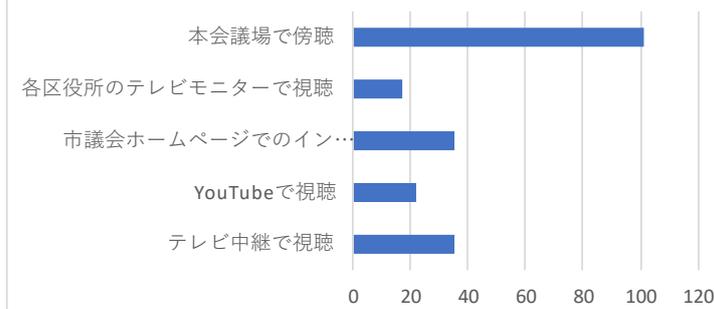
1回	10
2回	28
4回	55
6回	19
12回	35

2.3 機会があれば熊本市議会を傍聴（視聴）してみたいと思いますか



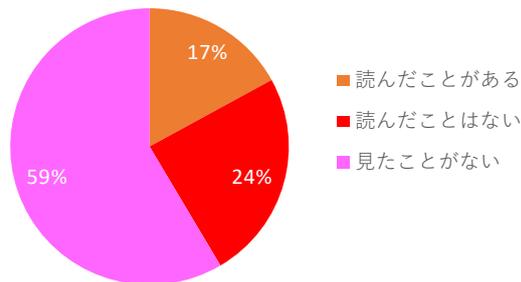
思う	75
思わない	72

2.4 熊本市議会を傍聴（視聴）する手段について、あなたが知っているものを教えてください（複数回答可）



本会議場で傍聴	101
各区役所のテレビモニターで視聴	17
市議会ホームページでのインターネット中継で視聴	35
YouTubeで視聴	22
テレビ中継で視聴	35

2.5 「くまもと市議会だより」をこれまでに読んだことがありますか

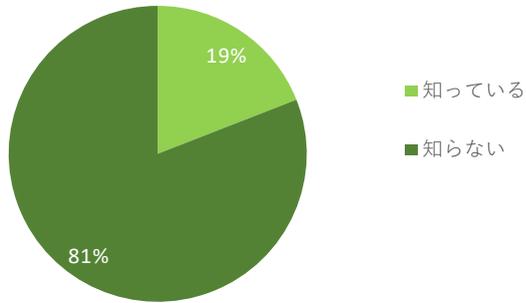


読んだことがある	25
読んだことはない	36
見たことがない	86

2.6 市議会だよりを読んで、気になる記事はありましたか。また、感想を聞かせてください。（主な回答）

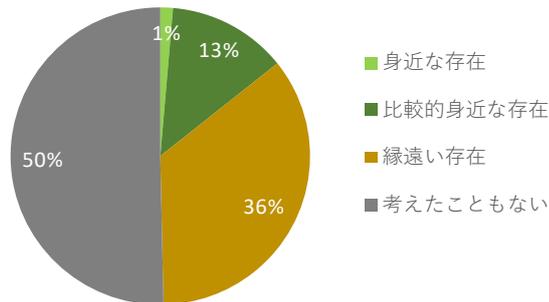
- ・じっくり読むと自分の生活と市議会で提案される政策等がとても身近であることがよく分かるが、普通の学生はそもそも手に取るまでのハードルが高いのではと感じる。（見た目から難しそう、自分には関係無いとってしまう。興味をそそられない）
- ・これまでほとんど同じ内容だったので、変化が欲しい。
- ・文字だけだったり白黒だけの色ではなく、カラフルに写真もついていてとても見やすかった。
- ・どういう現状で、どんな問題があるのか、どんな疑問を持っている人がいるのかなどが分かりやすく書かれている。
- ・色々なジャンルの課題を扱っていて面白かったです。
- ・覚えていない

3.1 熊本市議会議員がどんな仕事をしているか知っていますか



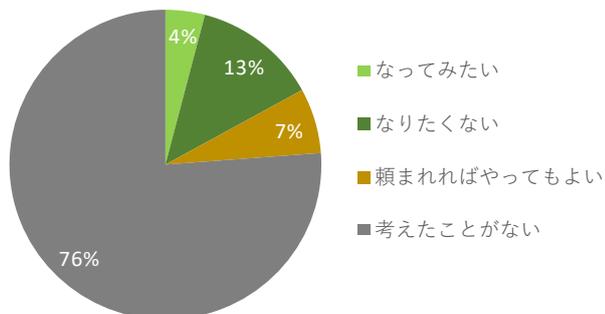
知っている	28
知らない	119

3.2 あなたにとって熊本市議会議員はどのような存在ですか



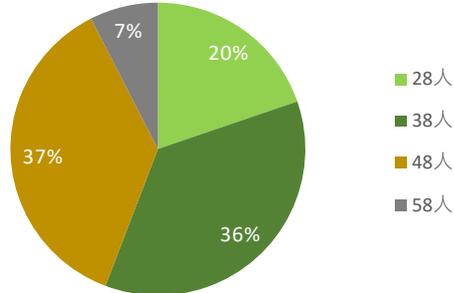
身近な存在	2
比較的身近な存在	19
縁遠い存在	52
考えたこともない	74

3.3 熊本市議会議員という職業についてどう思いますか



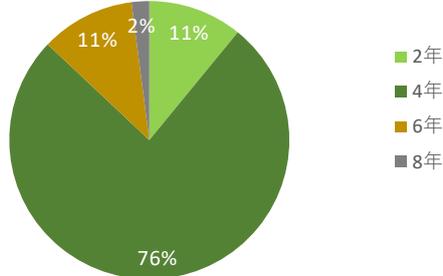
なってみたい	6
なりたくない	19
頼まれればやってもよい	10
考えたことがない	112

3.4 熊本市議会の議員定数は何人だ
と思いますか



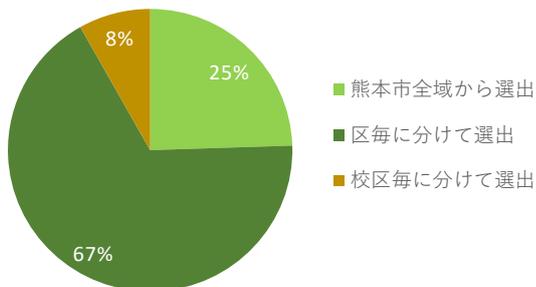
28人	29
38人	53
48人	54
58人	11

3.5 熊本市議会議員の任期は何年だ
と思いますか



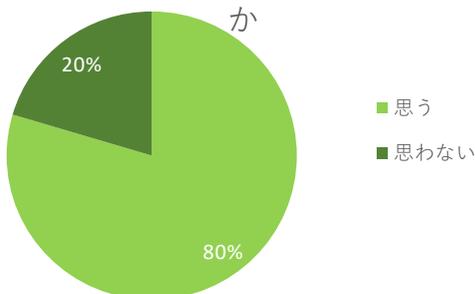
2年	16
4年	112
6年	16
8年	3

3.6 熊本市議会議員の選挙はどのよ
うに行われていると思いますか



熊本市全域から選出	36
区毎に分けて選出	99
校区毎に分けて選出	12

3.7 投票に行ってみたいと思いま
すか



思う	117
思わない	30

3.7の回答の理由をお聞かせください。（主な回答）

- ・住んでいる地域（生活）にかかわるから（15）
- ・選挙権があるから（9）
- ・政治に関わりたいから・関わるべきだから（9）
- ・若者の意見も必要だと思うから（9）
- ・自分の意見を反映させたいから（8）
- ・自分の1票で結果が変わるかもしれないから（6）

- ・議員のことをよく知らない・仕組みを理解していない（10）
- ・引っ越したばかり・熊本市民ではない（8）
- ・誰が当選しても一緒のように思える
- ・高齢化が激しい今日に若い人の声が届くと思わないから
- ・興味がないことにあまり時間を割きたくない

4.1自分が政治家（市長や議員）になったとして、こんな街にしたいという希望があったらお書きください。

・道路や公共交通の充実（12）・出産・子育ての充実（8）・自然と生きていく街（3）・治安がいい（2）・市民の声に耳を傾け、暮らしやすい街（2）・若い学生の将来への選択肢が増やせる街（2）・明るい笑顔あふれる街・誰もが住みやすい街・「日本人」を大事にする街・あいさつをみんなが明るく交わせる街・学生協を活発にしてほしい。一人暮らしの学生などに学費面だけでなく生活面でも援助を手厚くしてほしい。それにより他県から熊本に若者が入ってきやすくなり熊本の良さを知ってもらってそのまま熊本に就職するといった長い筋書きを作りたい・学生や家族世帯が安心して暮らすことができる街。また、一人暮らしの方に寄り添える街・県外から来た人がコミュニティの中で自分の居場所を築く機会を得られる街・魅力ある熊本県を他県だけでなく他国の方々にも来ていただけるような街・空港までが遠いエコな環境に配慮した街にしたい 熊本駅周辺でアミュプラザのほかに遊べる場所が少ないからショッピングモールやアクティビティが楽しめる施設を増やしたい・他のどの街よりも、市民一人ひとりがそれぞれ求める幸せを実感できる街。個人を大事にする教育や労働環境が整い、誰もが自由にいきいきと暮らすことが出来る街・2ヶ月に1回は祭りなど催し物があるような活気がある街・活気ある観光客の多い、地元住民も一体化した明るい県・バリアフリー化させたりその土地をあまり知らない人にも分かりやすく地図を作成したり誰もが住みやすい街・箱物に頼らず働く人や地域で頑張る人を応援する街作り。今とは違って市役所で働く人も大事にする・政治家のための政治ではなく 民衆のための政治を行う街・市民から反対されても20年、30年、100年経っても今以上の経済成長を果たした日本にしたい・高齢者のサポート

意見交換会の様子



意見交換会終了後の所見（熊本県立大学）

・私が質問した事について、優しく詳しく説明していただきありがとうございました。議員の皆様方が熊本市民ひとりひとりのために尽力しているんだと実感することができました。今日、議員の方々から学んだことを、友人や家族など様々な人に伝え、知識の和を広げていきたいです。本日はありがとうございました。

・今日、市議会の議員の方々とお話しすることができ、とても良い経験となりました。意見交換会を通して、議員の方々普段どのような仕事や活動を行っているのかを知ることができました。議会についてよく知らない友人も多くいると思うので、仕事や活動のこと、若者に意見を求めているということを伝えられたらと思います。意見交換会に参加してみて、二人の議員の方とお話しできてとても良かったのですが、ほかの議員の方ともお話しを聞いてみたいと思ったので、ローテーションで席を回るというのも面白そうだなと思いました。

・議員の方々から私たち市民の声を多く聞いてくださることを初めて知りました。選挙という場だけでなく、市議会のHPを見たり、議員の方々の地域活動を調べたりと、積極的に学生である私たちが知ろうとすることが必要だと実感しました。まずは、自分の区の議員の方々から情報を取り入れていきたいです。約1時間という短い時間でしたが、議員の方々の熱意や受け入れてくださる姿勢がとても身近に感じられた良い時間でした。

・今回の意見交換会に参加し、議員の方々から私たちの意見を取り入れようとしてくださる気持ちがとても伝わりました。熊本市に住む若者の一人として、こちらでも積極的に知ろうとし、自分なりの意見をしっかり持つようにしたいと思います。本当に貴重な体験をありがとうございました。次回があれば、また是非参加したいです。

・議員さんの情熱がすごくて感動しました。もっと堅い人たちだと思っていましたが、とても面白くて、柔軟な方たちばかりで、今後の「政治」が楽しみだと思いました。また、政治は受け身じゃなくて、自分から関わっていくべきものだと感じました。今回、よくあるようなただ政治についての勉強というわけではなく、議員さんとちゃんと意味のある会にできたので、とても満足しています。また、もっと多くの学生、若者がこのような機会に参加していくべきだと思いました。今日は本当にありがとうございました。

・市の気になったことを議員にも相談して良いと知り、ありがたいと感じました。今回参加して、議員さんの普段の活動や、どのような問題に対処しているか知り、大変参考にな

りました。また、このような活動があれば是非参加したいと思いました。ありがとうございました。私も今回得た学びを他者に還元していけるように生活していきたいと思いました。

・今まで議員についてほとんど知らなかったのですが、今日たくさんのことを聞き、興味をもつことができました。会う前までは議員さんは少し怖いイメージがありましたが、しゃべったときにみなさんととても優しく意見を聞き、たくさん情報を教えてくださり、とても有意義な一日になりました。今若者の政治無関心が問題となっているため、今日のことを友達などに伝え、興味を持ってもらえるよう行動していきたいと思います。またこのような機会があればぜひ参加したいと思いました。

・意見交換会に参加して、議員の皆さんと身近に話すことができよかったです。正直時間が短く感じ、もっと話したいという気持ちになりました。今日議員さんと話したことをこれからの大学生活や就活・ゼミ活動などで経験として活かしていきたいです。提案ではないかもしれませんが、高齢者の情報取得法について、「スマホ」などを使えない高齢者の方々のためにスマホについて講座等を行っていくと良いのではないかと思います。防災や政治についての情報取得がスムーズになると思いました。

・今回参加してみて、議会がやっていることや議員さんがやっていることを知るいい機会になりました。今まで身近に感じる事がなかったので、参加してみて良かったです。話しやすい雰囲気もとても良かったです。いろいろな人に薦めたいなと思いました。これからも熊本市の議員がどんな活動をしていくのか、気にかけて少しでも政治や行政に関心をもとうと思いました。また参加したいです。

・普段議員の方々とお話する機会がなかったので、今回の意見交換会に参加することができて良かったです。議員の方々には市と市民の仲介となり、市への意見や市民への説明を行うことで議員としての役割を担っておられるんだなと実感しました。私自身が大学で学んでいるテーマについて意見をいうこともできたし、また、伺うこともでき、今後の研究に活かしていきたいと考えております。1時間があっという間で、質問したいことができなかったのですが、議員の方々へ直接今後伺いできると聞いたので、今後何か質問や意見があれば議員の方へ伺って政治について考えていきたいなと思います。本日はありがとうございました。

・今回意見交換会に参加し、普段関わることのできない市議会の方々との交流ができ、貴重な経験となりました。高校や大学などで政治に関することに触れますが、実際に政治に興味を持つ若者は少ないと思います。今回参加させていただいた私たちが学んだことを周囲

に広げ、政治への意識を少しでも広げていければなと思いました。本日は貴重なお時間、ありがとうございました。

・今まで議員さんを身近に感じることは少なかったですが、今回の意見交換会を通して、熊本市政のために尽くされている議員さんの役割を知ることができました。私たち若者が政治に興味を持つことが少ない今、もっと市政をよくするために、私たち自身が意見を投じていくことが必要だとわかりました。本日は貴重なお話を聞くことができ、とても良かったです。ありがとうございました。

・今回の意見交換会では、議員の求めていること、目的実現のための制約の存在等を知ることができてとても参考になった。若者の政治参加のために議会からの行動に注目するとともに、私自身も若者の政治参加を促すことができるように努力していきたい。

・今回意見交換会に参加させていただいたことで、実際に働いていらっしゃる議員の方々とお話することができたことはとても貴重なことだと思います。普段はぼんやりとしか考えてこなかった若者の政治離れといった問題を具体的な解決策の意見出しを通して、深く考えることができたと思います。今後は、この経験を活かして、ただ情報を得るだけでなく、自分ならどうするかという自分事として考える習慣を身につけていきたいと考えました。

・議員のお二人が学生の意見にとっても耳を傾けてくださっていたことが嬉しく思ったのと、「若者」としての学生の意見を求められていると思ったので、このような交流の場があることが非常にありがたいと思いました。提案としましては、各大学にある「ポータル」又は遠隔授業が多いので、大学がそれぞれ使用するアプリなどと連動して広報するのはいかがかと思いました。

・普段関わることのできない議員さんと直接お話しさせていただくことができ、大変貴重な経験となりました。特に、議員の方々がフランクにお話ししてくださり、今までの議員さんに対する意識が変わりました。また、議員の具体的な活動や魅力についても知ることができ、これからの議会での活動などを興味を持って知っていきたいと思いました。改めて本日はこのような時間を設けていただき、ありがとうございました。

・学生を巻き込んで様々な活動を続けていくことが大切だと思いました。高校生よりももっと年齢の若い小学生・中学生などに向けても積極的に関わってみるのも政治への関心を高める方法として一つやってみてほしいと感じました。

今回のような会を開いてくださり、私としても学生のみならずともとても貴重な体験になり、大変ありがとうございました。おもしろい議員さんばかりなので、もっともっと市民の前で活躍して欲しいと願っています。本日は本当にありがとうございました。また参加したいと思います。

・議会の皆様と実際にお話をする中で、自分の中で持っていた堅苦しいイメージやどのような仕事をやっているのかわからない、といったようなことが明確になり、より身近に感じる事ができました。お時間があまりとれなかったということもあり、お聞きできなかったのですが、学生と議会とで今後やってみたいことなどを知りたかったです。

・議員さんがとても明るく気さくに話してくださったため、より身近に議員さんを感じる事ができました。私は元々議員さんの仕事に興味がありましたが、今日参加した他の学生さんの中には、議員さんについてよく知らないとおっしゃっていた方もいらっしゃったため、市民の方々に議員さんをより身近に感じてもらうためにはどうすればよいのかを考えてみようと思いました。

・今日は初めて議員さんを身近に感じる事ができました。今までは政治に関して堅苦しいイメージを持っていました。ですが、実際に話してみて、議員さんは私たち市民のことを考えてくださっていました。私の意見も優しく受け入れてくださいました。若い世代の人々にとって「政治」はまだ遠い存在だと思います。今日実際に議員さんと話した私が、周りの友達に今日のことを伝えなければならないと思いました。今日は貴重なお時間ありがとうございました。

意見交換会終了後の所見（市議会議員）

熊本市議会 議長 原口 亮志

まず初めに、今回の意見交換会が無事開催されたことに、関係者の皆様に深く感謝申し上げます。

今回は、熊本県立大学との意見交換でしたが、当日参加した学生のみならず、議員にとっても、日ごろあまり話す機会がない方々との交流は大変貴重なものであったように思います。短い時間ではありましたが、若い世代の皆様、議会が果たす役割や市議会議員の仕事について、また、これからの熊本市についての様々な意見を伺うことができ、大変刺激を受ける時間となりました。参加いただいた学生の皆様が、議会や議員、ひいては政治について、理解や関心を深めていただければ幸いに思います。

今後もこのような活動を積み重ね、市民の皆様が議会を身近に感じることに繋がっていくことを、心より期待いたします。

熊本市議会広報委員会 委員長 三森 至加

今回の県立大学の学生さんとの意見交換会は、やはり総合管理学科の学生さんということもあり、将来公務員を目指していらっしゃる方も多く参加してくださっていたので、前回よりも、より深く意見の交換ができたのではないかと思います。参加された議員さんから、もう少し時間が欲しかったなどの意見もいただき、実のある交換会になったと思います。学生さんからも貴重な意見をいただいていますし、より身近に感じていただけ、今後市政活動に反映できればと思いました。

県立大学の堤学長、犬塚事務長には感謝です。ありがとうございました。

意見交換会にあたっては熊本県立大学より 20 名もの大学生の皆さんにご参加頂き心より感謝申し上げます。

私は前回の「高校生と熊本市議会議員の意見交換会」に引き続き、今回も司会進行を務めさせて頂きました。

全体の印象としまして、前回の高校生と比べますと、今回は大学 3～4 年生が主体であったため、学生の皆さんもさほど緊張感はなく、非常に和やかで和気藹々としたスムーズなグループ意見交換となったようです。

高校生と大学生のアンケート結果をそれぞれ見比べながら意見交換を行ったことも、円滑な進行に繋がったのではないかと感じます。

議会広報委員会 10 周年を迎え、2 度の新たな取り組みを行いました。大変有意義なものでありましたので、この経験や成果が来年度以降にも引き継がれることを期待しております。

熊本市議会広報委員 田中 敦朗

前回の高校生との意見交換会は、コロナ禍ということで、参加を遠慮しましたが、今回は担当ということで、大学とのやり取りなどもやらせていただきました。高校は市立ということもあり、スムーズでしたが、県立の大学ということで、当初は中々やり取りが上手くいかず開催自体、大変心配しました。最終的には母校ということもあり、堤学長先生と総合管理学部長の澤田先生、連携センターの犬塚事務長のお陰で 20 名の参加で開催出来て心から安心しています。

参加した学生たちは、オジサンである我々議員の投げかけにも真摯に対応してくれましたし、積極的に発言をしてくれて、大変充実した意見交換会になったと考えています。

中でも、議員のこれまでの自分のことしか考えていないだろうというイメージが変わったという発言や、議会だよりや議員の発信についての若者らしい提案は、開催の大きな意義として良いと考えます。

今期は一旦、意見交換会の開催はお休みとなりますが、広報委員会の大切な事業として、今後も是非継続して欲しいと思います。

熊本市議会広報委員 光永 邦保

事前調整の段階ではいろいろあったが、終わってみれば県大生 20 名の参加を得て、活発な意見交換ができたことを嬉しく思う。

参集した学生が 3 年生、4 年生ということもあり、前回の高校生とはまた違った雰囲気
で意見交換をすることができた。特に、何か社会問題を取り上げるというより、すでに就活
の時期に入っているので、将来の自分の仕事を見据えた質問や意見が多かったように思う。

本来、議会の広報を目的にスタートした本事業だが、今後は議会や議員の活動に限らず、
広く社会に貢献することの素晴らしさなども具体的に紹介できるように準備していきたい。

流した汗以上の成果に手応えを感じるとともに、この取組みは今後も継続すべきと改めて
意を強くする次第である。

熊本市議会広報委員 吉村 健治

大学生が自分の意志で参加し、政治とは何かを知るきっかけを求めている意気込みを感じ
る事ができた。議員と学生側が、お互いウィンウィンの会にするために、更なる工夫が必要
だが、議論する時間も、もう少し必要かもしれない。議論に入る前にお互いを知るための
交流時間もそうだし、事前に市議会だよりやホームページを見ていただき、予習をした上で、
お互いに話し合うことで、より充実した会にする事ができる。また終了後、茶話会的に雑談
をすることでより親しみを感じていただけるかもしれません。

意見交換会の趣旨は、「議会広報紙」を読んでもらいたいことであり、その先に、熊本市議会のことを身近に感じてもらい、理解を深めてもらいたいことがある。

その観点から、今般の県立大学生との意見交換会は意義深く、私にとっても貴重な経験となった。

学生からは、「市民が自らの意見を行政に発信するにはどうしたらよいのですか?」、「熊本市議会議員の定数は妥当なのですか?」、「条例はどのように作られているのでしょうか?」といった質問が飛んできた。

また、「議会や市議会議員からのメッセージが伝わってこない」といった、厳しい指摘もあった。

学生と接する中で気づいたことは、政治に興味がないわけではない。それに接する機会が少ないことから、関心が低いということ。

議会への理解を深めてもらうためには、その広報の在り方が重要な要素であると、改めて学生に教えてもらった。

今回、初めて大学生の方との意見交換会に参加いたしました。

どんな意見が飛び出してくるのかドキドキしていましたが、自分の大学生時代に比べ政治に対して意識がとても高く、頼もしく感じました。

何故、若者の投票率が低いのか。若い世代が政治に興味を持ってもらうにはどうすれば良いのか。永遠の課題かもしれませんが、今回のような若者の意見を聞く場をどんどん作っていく必要があると感じました。

今回、頂いたご意見を参考にしながら、若者の皆さんの気持ちに寄り添った政策へとつながっていけば良いと思いました。

熊本市議会広報委員 島津 哲也

前回の千原台高校との意見交換会に引続き、熊本県立大学との意見交換会へ出席することが出来て、自分にとって非常にいい勉強となりました。

政治や議会活動については、高校生よりも知識があることはアンケート結果でわかっていましたが、意見交換することによって政治や議会に全く関心が無い訳ではなく、日常生活で接することがないため理解を得られてないことがよくわかりました。

今後も広報委員会として、いろんな方々とテーマを設定して意見交換を開催していき、沢山の市民の皆さまへ議会の役割や取組みをご理解いただければ嬉しく思います。引続き委員として頑張っていきます。

熊本市議会広報委員 荒川 慎太郎

意見交換会を概ね下記の項目順で実施した。

- ① 自己紹介
- ② アンケート各項目の結果に関して説明及び意見聴取
- ③ アンケート結果を見てからの感想
- ④ 議員に対する質疑応答

アンケート結果を見てからの感想の中で多かったものは、Q3-2「あなたにとって熊本市議会議員はどのような存在ですか？」に対して、「考えたこともない」という回答が半数を占める点であった。

投票に行ってみたいと思いますか？という問いに対しては 8 割が思うという回答であったが、Q3-2 に対する回答が示すように実際に投票に行っている学生はもっと少ないだろうとの意見もあった。

また議員の役割や仕事に関して、授業で教わった内容までしか知識がなく、そのレベルでは興味関心を持ちづらいとの意見もあり、行政や政治に関して、我々議員の立場からの情報発信が更に必要であると感じた。

ただ参加した学生から受けた印象としては、多少なりとも関心を持ってくれており、アンケート結果にあるように議員になってみたいと思う学生が4%存在するということも含めて、悲観的になってしまわずとも一筋の光明はあると感じた。

参加学生には、市議会だよりや議会傍聴等、議会に対する興味関心が湧くように、周りの友人知人にも勧めてもらうよう依頼しながらの進行となるように心がけた。

前回の高校生との意見交換会とは、また違った意味で有意義なものであり、議員の立場としても得られるものが多かったと感じる。

今後も様々な手法を模索しながら、広報委員会としての活動の一環として継続していくことが望ましいと考える。